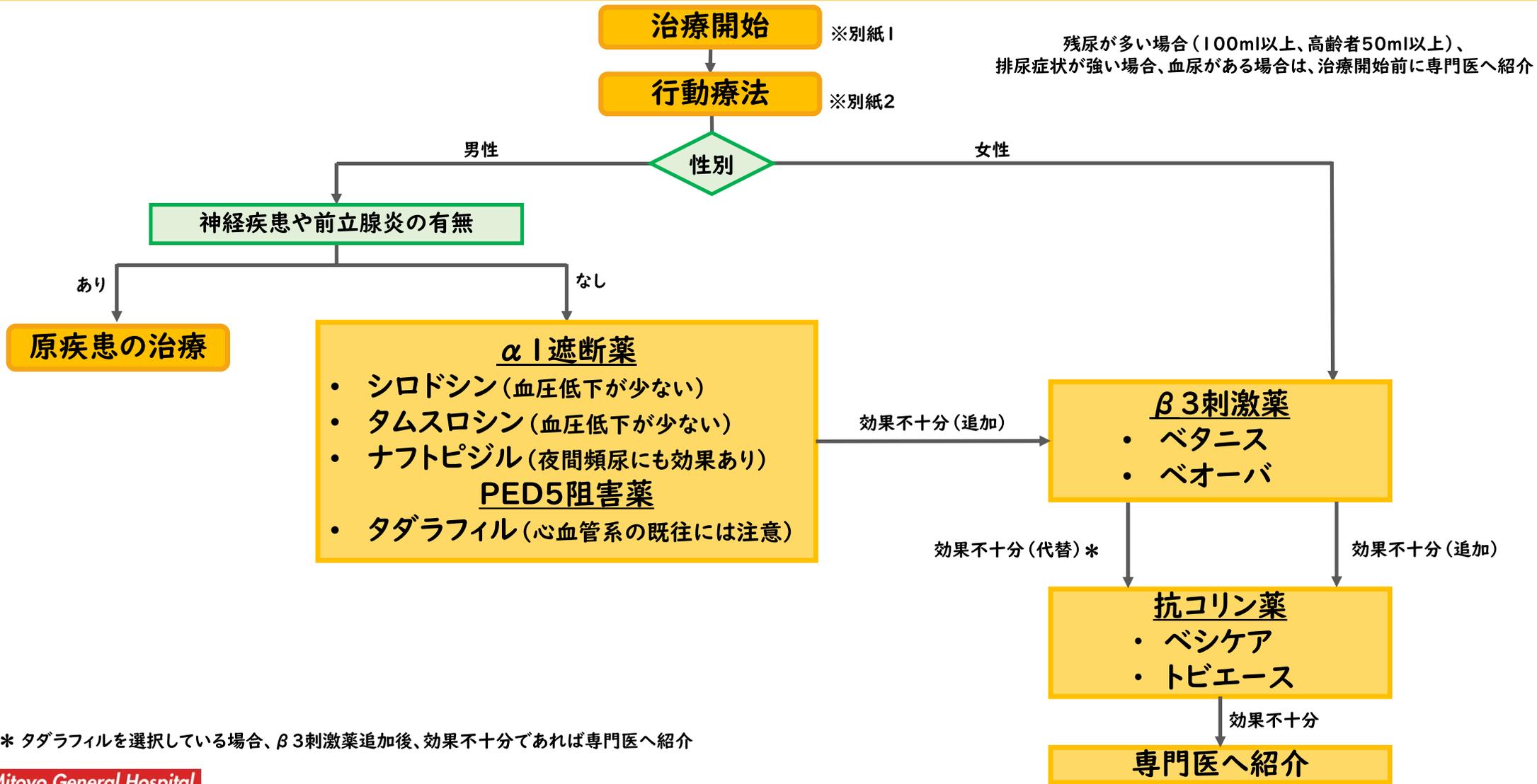


# 過活動膀胱治療薬フォーミュラリ (推奨薬フローチャート)

薬事委員会 (2025年4月) 承認



# 別紙Ⅰ：過活動膀胱スコア (Overactive Bladder Symptom Score:OABSS)

薬事委員会 (2025年4月) 承認

## Step1

### 過活動膀胱症状質問票

以下の4つの症状がどれくらいの頻度でありましたか？  
この1週間のあなたの状況に最も近いものをひとつだけ選んでください

| 症状                                    | 頻度        | 点数 |
|---------------------------------------|-----------|----|
| 朝起きた時から寝る時まで<br>何回くらい尿をしましたか          | 7回以下      | 0  |
|                                       | 8~14回     | 1  |
|                                       | 15回以上     | 2  |
| 夜寝てから朝起きるまでに、<br>何回くらい尿をするために起きましたか   | 0回        | 0  |
|                                       | 1回        | 1  |
|                                       | 2回        | 2  |
|                                       | 3回以上      | 3  |
| 急に尿がしたくなり、<br>我慢が難しいことありましたか          | なし        | 0  |
|                                       | 週に1回より少ない | 1  |
|                                       | 週に1回以上    | 2  |
|                                       | 1日に1回くらい  | 3  |
|                                       | 1日2~4回    | 4  |
|                                       | 1日5回以上    | 5  |
| 急に尿がしたくなり、<br>我慢できずに尿を<br>もらすことありましたか | なし        | 0  |
|                                       | 週に1回より少ない | 1  |
|                                       | 週に1回以上    | 2  |
|                                       | 1日に1回くらい  | 3  |
|                                       | 1日2~4回    | 4  |
|                                       | 1日5回以上    | 5  |

① 合計 \_\_\_\_\_ 点

## Step2

| 症状                          | 頻度        | 点数 |
|-----------------------------|-----------|----|
| 急に尿がしたくなり<br>我慢が難しいことありましたか | なし        | 0  |
|                             | 週に1回より少ない | 1  |
|                             | 週に1回以上    | 2  |
|                             | 1日に1回くらい  | 3  |
|                             | 1日2~4回    | 4  |
|                             | 1日5回以上    | 5  |

② \_\_\_\_\_ 点

### 診断基準

Step1の①合計点数 **3点以上**

Step2の②点数 **2点以上**

かつ

→ 過活動膀胱

重症度: Step1の合計点数で判定

- 軽症 5点以下
- 中等症 6~11点
- 重症 12点以上

### 生活習慣

- ・体重減少、運動、禁煙、食事・アルコール・飲水指導、便秘の治療

### 膀胱訓練、計画療法

- ・尿を我慢させることにより畜尿症状を改善させる

### 理学療法

- ・骨盤底筋訓練  
(骨盤底筋の筋力を増強させて尿道を収縮させ、膀胱機能を制御する)
- ・フィードバック訓練、バイオフィードバック訓練  
(膣や肛門の内心による骨盤底筋の収縮を確認)

### 行動療法統合プログラム

- ・医療専門職による生活指導と膀胱訓練、骨盤底筋訓練を組み合わせたプログラム

## 過活動膀胱治療薬 一覧

| 薬効分類                  | 薬品              | 一般名           | 院内採用 | 半減期(h)                  | 薬価(円)<br>※後発医薬品の薬価 | 特徴  |
|-----------------------|-----------------|---------------|------|-------------------------|--------------------|---|
| β3アドレナリン受容体作動薬        | ベタニス25/50mg     | ミラベクロン        | ○    | 36.4±11.8<br>(50mgデータ)  | 87/147             | 徐放性製剤。血圧上昇のリスクが一部報告されており、高血圧の既往を持つ患者で特に注意が必要。                             |
|                       | ベオーバ50mg        | ビベクロン         | ○    | 64                      | 152.7              | 腎機能や肝機能の影響を受けにくいいため、軽度から中等度の腎・肝障害を持つ患者にも比較的使用しやすい。                        |
| 抗コリン薬                 | ポラキス1/2/3mg     | オキシブチニン       |      | 0.94±0.12<br>(2mgデータ)   | 5.7/5.9/5.9※       | 初期の抗コリン薬。腎機能障害時に減量の必要がない。中枢神経系への影響が強く、高齢者に注意。                             |
|                       | ネオキシテープ73.5mg   | オキシブチニン経皮吸収製剤 |      | 15.3±2.9                | 144.4              | 過活動膀胱治療薬として唯一の貼付剤で、経口摂取が困難な患者にも使用可能。                                      |
|                       | バップフォー10/20mg   | プロピペリン        | ○    | 11.22±4.09<br>(10mgデータ) | 19.2/27.2※         | 抗コリン作用とカルシウム拮抗作用を併せ持ち、膀胱平滑筋の異常収縮を抑制する。                                    |
|                       | デトルシール2/4mg     | トルテロジン        |      | 11.3±5.41<br>(4mgデータ)   | 58.2/99.8          | 膀胱選択性が高く、抗コリン性副作用が比較的少ない。   |
|                       | ベシケア2.5/5mg     | ソリフェナシン       | ○    | 38.03±7.48<br>(5mgデータ)  | 22.2/37.3※         | 膀胱選択性が高く、抗コリン性副作用が比較的少ない。   |
|                       | ウリトス、ステープラ0.1mg | イミダフェナシン      |      | 2.9±0.2                 | 17.8※              | 即効性かつ短時間作用型であるため、夜間頻尿が主な症状の場合に適している。                                      |
|                       | トビエース4/8mg      | フェソテロシン       | ○    | 9.84±2.14<br>(4mgデータ)   | 142.3/212.1        | 膀胱選択性が高く、抗コリン性副作用が比較的少ない。   |
| 平滑筋弛緩薬                | ブラダロン200mg      | フラボキサート       |      | 2.73±1.52               | 9.0※               | 抗コリン作用は弱いため、抗コリン薬に比べて副作用が少ない。   |
| 漢方薬                   | 八味地黄丸           | 八味地黄丸         | ○    |                         | 9.8                | 全身的な症状(疲労感、むくみなど)が中心の場合に適している。  |
|                       | 牛車腎気丸           | 牛車腎気丸         | ○    |                         | 17.7               | 下肢のむくみや排尿症状が強い場合に適している。   |
| α1アドレナリン受容体遮断薬        | ハルナール0.1/0.2mg  | タムスロシン        | ○    | 8.04±2.45<br>(水なし食後投与)  | 7.1/20.5※          | 血圧への影響が少なく、高齢者にも適している(α1Aおよびα1D受容体選択的)。射精障害が副作用として報告されることがある。             |
|                       | フリバス25/50/75mg  | ナフトピジル        | ○    | 15.2±4.7<br>(25mgデータ)   | 10.1/15.0/16.9※    | 膀胱平滑筋の弛緩を目的とした治療に適しており、蓄尿機能の改善が期待される(α1D受容体選択的)。                          |
|                       | ユリーフ2/4mg       | シロドシン         | ○    | 5.772±3.417<br>(4mgデータ) | 10.1/14.5※         | 血圧への影響が少なく、高齢者にも適している(α1Aおよびα1D受容体選択的)。射精障害の発現率が比較的高い。                    |
|                       | エブランチル15/30mg   | ウラビジル         | ○    | 2.7±1.4<br>(15mgデータ)    | 15.8/35.4          | 本態性高血圧症・神経因性膀胱の適応症もあり。  |
| 5α還元酵素阻害薬             | アボルブ0.5mg       | デュタステリド       | ○    | 62.0±20.6               | 29.2※              | 性機能障害(勃起不全、性欲減退)、乳房障害(女性化乳房、乳房痛)などの副作用あり。<br>妊婦や妊娠の可能性のある女性は、薬剤に触れることも禁忌。 |
| 抗アンドロゲン薬              | プロスタール25mg      | クロルマジノン       | ○    | 2.8±2.2                 | 11.4※              | 性欲減退、勃起不全、乳房の腫れや痛み(女性化乳房)などが報告されている。                                      |
| ホスホジエステラーゼ5型(PDE5)阻害薬 | ザルティア2.5/5mg    | タダラフィル        | ○    | 14.2<br>(5mgデータ)        | 19.5/40.2※         | 血流改善や膀胱の過伸展の抑制にも寄与する。<br>硝酸薬との併用は禁忌(過度な血圧低下のため)。                          |

# 参考文献

- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ4-1 生活習慣の改善は、過活動膀胱の治療として推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ4-2 過活動膀胱に対する行動療法と薬物療法を併用することは推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ5-1 過活動膀胱治療において、最初に使用した $\beta$ 3受容体作動薬が効果不十分・有害事象などで継続困難な場合、別の $\beta$ 3受容体作動薬あるいは抗コリン薬への変更は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ5-2 過活動膀胱治療において、最初に使用した抗コリン薬が効果不十分・有害事象などで継続困難な場合、別の抗コリン薬あるいは $\beta$ 3受容体作動薬への変更は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ6-1 過活動膀胱治療において、抗コリン薬または $\beta$ 3受容体作動薬の単独投与の効果が不十分な場合、抗コリン薬と $\beta$ 3受容体作動薬の併用投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ11-1 男性過活動膀胱患者の初期治療として、抗コリン薬の単独投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ11-2 男性過活動膀胱患者の初期治療として、 $\beta$ 3受容体作動薬の単独投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ12-1 前立腺肥大症を有する過活動膀胱患者に対して、 $\alpha$ 1遮断薬単独投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ12-2 前立腺肥大症を有する過活動膀胱患者に対して、PDE5阻害薬単独投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ12-3 前立腺肥大症を有する過活動膀胱患者に対して、5 $\alpha$ 還元酵素阻害薬単独投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ13 前立腺肥大症を有する過活動膀胱患者に対して、 $\alpha$ 1遮断薬と抗コリン薬の併用投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ14 前立腺肥大症を有する過活動膀胱患者に対して、 $\alpha$ 1遮断薬と $\beta$ 3受容体作動薬の併用投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ15 前立腺肥大症を有する過活動膀胱患者に対して、PDE5阻害薬と抗コリン薬あるいは $\beta$ 3受容体作動薬の併用投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ18 骨盤臓器脱を有する過活動膀胱患者に対して、抗コリン薬または $\beta$ 3受容体作動薬の併用投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ29-1 生活指導は、高齢者の過活動膀胱患者に対して推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ29-2 行動療法は、高齢者の過活動膀胱患者に対して推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ29-3 抗コリン薬は、高齢者の過活動膀胱患者に対して推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ29-4  $\beta$ 3受容体作動薬は、高齢者の過活動膀胱患者に対して推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会:過活動膀胱診療ガイドライン[第3版] CQ30 残尿を有する高齢者過活動膀胱患者に対して抗コリン薬あるいは $\beta$ 3受容体作動薬の投与は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会 日本女性骨盤底医学会:女性下部尿路症状診療ガイドライン[第2版] CQ10 女性過活動膀胱に対する行動療法と薬物療法の併用は推奨されるか？
- 日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会 日本女性骨盤底医学会:女性下部尿路症状診療ガイドライン[第2版] CQ13 女性過活動膀胱に対して、抗コリン薬と $\beta$ 3作動薬の併用療法は推奨されるか？
- 日経メディカル  $\alpha$ 1遮断薬(前立腺肥大症治療薬)の解説
- 日経メディカル 抗コリン薬(神経因性膀胱、過活動膀胱)の解説
- 前立腺肥大症に伴う下部尿路症状に対するナフトピジルの長期投与の臨床的検討
- 日本泌尿器科学会雑誌  $\alpha$ 1受容体遮断薬投与後に過活動膀胱症状が残存する患者に対する酒石酸トルテロジンの臨床効果
- 日本泌尿器科学会雑誌 過活動膀胱を有する前立腺肥大症患者に対するタムスロシンとソリフェナシン併用療法の検討 有効性と安全性の短期評価
- ファルマシア SEMINAR 過活動膀胱治療薬はなぜ膀胱に作用するのか
- 中高年の排尿トラブルを解消する～男性下部尿路症状の原因と治療～杏林医学会誌 50巻4号203～206 2019年12月
- 過活動膀胱治療薬 北村正樹 耳展 50:4;260～263, 2007
- 新規過活動膀胱治療薬イミダフェナシン(ウリトス錠、ステーブラ錠)の薬力学的特性および臨床試験成績 日本理誌 宇野隆司、小林文義、緒方昭仁、許斐俊彦
- 添付文書・インタビューフォーム アステラス製薬:ベタニス錠 添付文書・インタビューフォーム 株式会社ツムラ:牛車腎気丸
- 添付文書・インタビューフォーム 杏林製薬株式会社:ペオーバ錠 添付文書・インタビューフォーム 株式会社ツムラ:八味地黄丸
- 添付文書・インタビューフォーム チェプラファーム株式会社:ポラキス錠 添付文書・インタビューフォーム 日本薬品工業株式会社:タムスロシン塩酸塩OD錠
- 添付文書・インタビューフォーム 久光製薬株式会社:ネオキシテープ 添付文書・インタビューフォーム 日本薬品工業株式会社:ナフトピジルOD錠
- 添付文書・インタビューフォーム 東和薬品株式会社:プロピペリン塩酸塩錠 添付文書・インタビューフォーム 第一三共エスファ株式会社:シロドシンOD錠
- 添付文書・インタビューフォーム ヴィアトリス製薬合同会社製薬:デトルシールカプセル 添付文書・インタビューフォーム 科研製薬株式会社:エブランチルカプセル
- 添付文書・インタビューフォーム 東和薬品株式会社:ソリフェナシンコハク塩酸錠 添付文書・インタビューフォーム Meiji Seika ファルマ株式会社:デュステリド錠
- 添付文書・インタビューフォーム 杏林製薬株式会社:ウリトス錠 添付文書・インタビューフォーム 株式会社陽進堂:クロルマジノン酢酸エステル錠
- 添付文書・インタビューフォーム ファイザー株式会社:トビエース錠 添付文書・インタビューフォーム シオエ製薬株式会社:タグラフィル錠
- 添付文書・インタビューフォーム 日本新薬株式会社:ブラダロン錠